



2013年6月3日

富士重工業「自動車リサイクル法」による2012年度再資源化率等の実績を公表

富士重工業は、自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)に基づく2012年度(2012年4月～2013年3月)における再資源化等の実績を公表します。

2012年度の実績は、シュレッダーダスト^{*1}(以下ASR)では194,189台(31,478.1トン)を回収、30,174.1トンを再資源化しました。よってASR再資源化率は95.9%となり、2015年度法定基準である70%を達成しました。

^{*1} 使用済自動車から有用資源を回収した後に残る破碎残さ

またエアバッグ類は119,435台、288,938個を引き取り、22,007.2kgをリサイクル施設に投入し、20,584.2kgを再資源化しました。再資源化率は93.5%になり、法定基準の85%を達成しています。
フロン類は156,904台(44,313.8kg)を引き取り、適正に処理を行いました。

再資源化に要した費用は1,527,559,148円、資金管理法人から払渡しを受けた預託金は総額1,830,354,181円であり、全体収支は302,795,033円の黒字となりました。

富士重工業では自動車メーカーが主体で結成するART(自動車破碎残さリサイクル促進チーム)の一員としてシュレッダーダストの再資源化に取り組み、2011年5月にシュレッダーダストの埋立て処理ゼロ化を達成、現在も継続しています。

今後も富士重工業では使用済自動車から発生するASR、エアバッグ類、フロン類の3品目の引取・再資源化が確実かつ円滑に行われるよう取り組み、高い水準のリサイクル率を安定的に維持することを目指します。